

ほけんだより

子ども健康部 幼児課
令和7年8月発行

なつ はだ 夏の肌トラブルについて

か
蚊

に刺されたとき



おとなが蚊に刺されるとすぐに腫れ、じきに治まります。ところが、小さな子どもは、刺されてしばらくたってから、びっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることもあります。かき壊さないよう、早めに手当てしましょう。

ケア

①刺されたところを
みずであらなが
水で洗い流す。



②かゆみ止めを塗ったり、
ぬらしたタオルやハンカ
チで包んだ保冷剤など
を当てたりして、かゆみ
をやわ
を和らげる。



あせも

ができたとき

汗を分泌するところに、汗やほこりなどがつまって炎症が起こった状態です。汗をかきやすい部位に赤い小さなポツポツがたくさんできて、かゆくなります。

ケア

シャワーなどで汗をよく洗い流す。
外出先などでは、汗の成分が皮膚に残らないよう、ぬらしたタオルで汗をふき取る。



よぼう
予防

汗をよく吸い取る綿の肌着や
シャツを着せましょう。

とびひ

ができたとき

皮膚をかきむしって傷ができたところに細菌が感染して、ジクジクした湿しん(とびひ)ができます。とびひは感染力が強いうえに、ひどくかゆいため、かいた手で体のほかの部分に触ると、そこにも湿しんが広がります。

ケア

シャワーを浴び、皮膚の清潔を保つ。
かき壊して広がる、周りに感染するのを
防ぐためにガーゼなどで保護することもある。



ちりょう
治療

抗菌薬の塗り薬や内服が処方される。

はだ
肌トラブルの防ぎ方



- ★皮膚を傷つけないようにつめを短く切る
- ★かゆみを和らげるように、冷やす・かゆみ止めを塗る
- ★治りが遅い、広がった、湿しんが変化したときは、小児科や皮膚科を受診する